
「高齢者施設におけるビスホスホネート製剤、デノスマブ使用状況および顎骨壊死の実態調査」に関するお知らせ

このたび、当院研究協力施設で診察を行った患者さんの診療録を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、【埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2024年8月1日～2024年12月1日の期間に埼玉医科大学総合医療センター歯科口腔外科、研究協力施設で口腔ケアを行う患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

本研究の目的は、BP製剤およびデノスマブによる顎骨壊死の予防、防止のため高齢者施設でのBP製剤およびデノスマブの使用状況及び使用者の口腔内環境を調査し、日々の高齢者の口腔ケアに役立てることです。

3. 研究期間

病院長の許可後～ 2026年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年8月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

調査項目は患者さんの年齢、性別、既往歴、薬歴、入所歴、BP製剤、デノスマブ使用の有無、投与経路、投与期間、歯科治療歴、歯周基本検査、顎骨壊死発症の有無、ステージ分類です。

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学総合医療センター歯科口腔外科外来】において、研究責任者、飯島洋介が個人が特定できないよう加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

研究協力施設で口腔ケアを行った患者さんの診療記録を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 歯科口腔外科 飯島洋介（研究代表者）

既存試料・情報の提供のみを行う者 特別養護老人ホーム あったかの家

常勤歯科医師 堀江憲夫

既存試料・情報の提供のみを行う者 ワトナール浦安・葛西 常勤歯科医師 堀江憲夫

既存試料・情報の提供のみを行う者 介護老人保健施設 やまざくら常勤歯科医師 神戸智幸

既存試料・情報の提供のみを行う者 介護老人保健施設 うらら常勤歯科医師 神戸智幸

4. 試料・情報の管理責任者

提供先機関【埼玉医科大学総合医療センター】 病院長 別宮好文

提供元機関 あったかの家 施設長 小川亮

提供元機関 ワトナール浦安・葛西 施設長 村元裕

提供元機関 やまざくら 施設長 高橋泰

提供元機関 うらら 施設長 半田敦史

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 歯科口腔外科（飯島洋介）

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3687（平日 9:00～17:00）

○研究課題名：高齢者施設におけるビスホスホネート製剤、デノスマブ使用状況および顎骨壊死の実態調査

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 歯科口腔外科 飯島洋介